



## 令和6年度 道徳教育推進協議会議の取組

第1回 令和6年7月8日(月) 10時～11時30分

幸手市役所第2庁舎第1会議室 A

○本年度の計画について

○協議

「未来の担い手となる市内の幼・小・中・高の道徳性を育むために、人と人との「かかわり」を通して、心の結びつきを大切に、明るい地域を形成する「あいさつ」を、さらに地域に広め「道徳のまちづくり」を推進するには、本協議会議としてどのように取り組んでいったらよいか。」

第2回 令和6年10月7日(月) 13時～14時45分

幸手市立長倉小学校

○道徳科授業参観 第1学年2組 授業者:谷田部 佳祐 教諭

「こまっている ともだちに」(教材名「くりのみ」 出典「新・みんなのどうとく」学研)

<教材の内容>

冬の日食べ物を探しに出かけたキツネがたくさんのだんぐりを見つけ、一人で食べてしまう。その帰り道でウサギに出会い、何も見つからなかったと嘘をつく。しかし、ウサギは自分が見つけた二つのどんぐりのうち一つをキツネに差し出す。このウサギの優しさに触れたキツネは涙を流す。



○協議

「学校におけるあいさつの取組と本日の授業について」

第3回 令和6年11月15日(金) 7時30分～10時

幸手市立さくら小学校

○未来へつなぐ笑顔のあいさつ運動

幸手中学校の生徒会役員と道徳教育推進協議会議委員がさくら小に集い、あいさつ運動を行った。

後半には登校してきた6年児童もあいさつ運動に加わり、あいさつの輪がつながっていった。温かいあいさつと笑顔でスタートする1日となった。

○令和6年度幸手市 SDGs道徳プロジェクト ありがとう作文、あいさつキャッチフレーズの選考



## 第4回 令和7年1月10日(金) 13時20分～15時15分

### 幸手市立西中学校

#### ○山西教育長による道徳科授業

第1学年2組 「他に学ぶ広い心」

(教材名「蹴り続けたボール」 出典 長谷部誠

「心を整える。～勝利をたくり寄せるための56の習慣」幻冬舎 )

#### <教材の内容>

長谷部誠選手がプロサッカー選手としての初期の経験を通じて、困難や挫折を乗り越える姿を描いた物語である。

長谷部選手は試合に出られると思い家族にもそれとなく伝えていた。遠方に住む家族は、早朝から家を出発し、試合会場に来てくれた。しかし、その試合には出場できなかった。彼は感情を抑えきれず、クラブハウスの練習場で壁に向かってボールを蹴り続ける。この行動を通じて、彼は自分の感情を整理していく。



#### ○協議

「今年度の取組及び来年度の取組計画について」